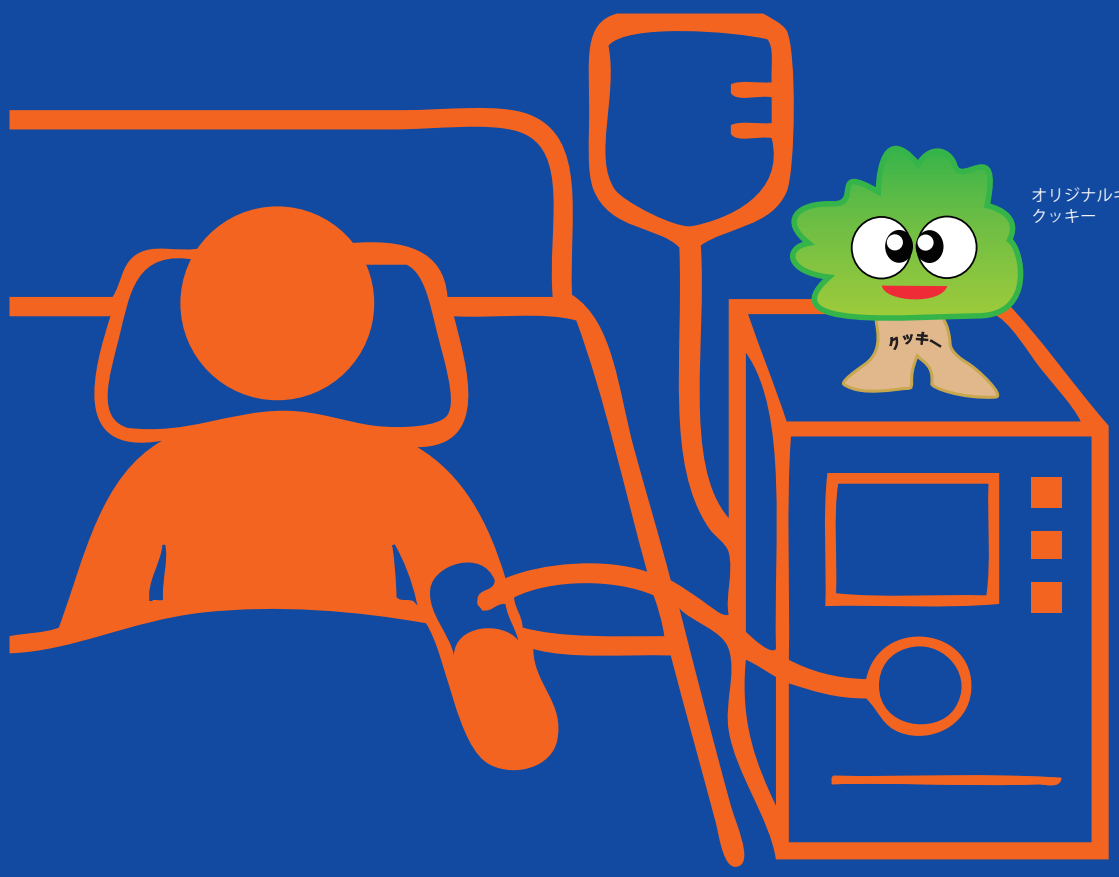
医療法人社団 三思医光会　くすの木病院

relation@

地域連携だより「りれーしょん」



オリジナルキャラクター
クッキー

透析センター

～連携を強化する多角的な入院体制と取り組み～

2026
新年号

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
皆様には、平素よりくすの木病院をご愛顧頂きまして、改めて御礼申し上げます。
新病院建築を視野に、当院も新たな年に向け始動致しました。もとよりケアミックス型病院を実践している当院では、救急を始めとする一般病棟の他、慢性期の回復期リハビリ、地域包括、療養病棟と急性期から慢性期まで幅広い患者層を受け入れる病院として地域医療に貢献して参りました。コロナの収束後も特に冬季は呼吸器感染症が増加し、昨年12月はほぼ満床状態が続きました。
本年も今までにも増して感染症に強い病院を構築すべく、職員一同安全対策にも注力してまいります。
本年も御指導、御紹介の程よろしくお願い致しまして、新年のご挨拶と致します。

病院長　高木　均

1980年群馬大学卒業後2014年から現職
日本肝臓学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本内科学会認定内科医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本肝移植学会特別会員
群馬県病院協会理事
群馬大学大学院医学系研究科臨床教授

特　集

透析センター

～連携を強化する多角的な入院体制と取り組み～

内科診療部　腎臓内科

奥田　憲太郎

OKUDA　KENTARO

2005年　島根大学医学部卒業
日本内科学会認定医、総合内科専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本血液学会専門医、日本リウマチ学会専門医、ICD制度協議会認定ICD、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、バスキュラーアクセスインターベンション治療医学会VAIVT認定専門医、日本医学シミュレーション学会CVCインストラクター、日本DMAT隊員

あけましておめでとうございます。腎臓内科の奥田憲太郎と申します。2018年4月から2021年7月まで、くすの木病院で勤務しておりました。その後、2021年8月から2025年5月まで茨城県牛久市にあります、つくばセントラル病院で勤務し、2025年6月より御縁がありまして、再度くすの木病院へ入職いたしました。

当院の腎臓内科は、野口先生が常勤医1名で長く勤務されておりましたが、今年より当方が加わり、2名体制となりました。当方が勤務再開となってから、手技的には、造影剤を使用せず、被爆の無いエコー下でのPTAも始めておりまして、2025年は30例ほど施行いたしました。こちらの手技は、造影剤アレルギーのある患者様でも施行可能です。今のところ大きな合併症も無く手技を行えております。

病床数は、一般病棟80床、回復期リハビリテーション病棟40床、療養病棟54床、地域包括ケア病棟40床、合計214床です。透析患者様が何らかの合併症で、一般病棟に入院になった後、ADLが低下して自宅への退院が困難になった場合でも、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟と、様々な機能の病棟があり、フレキシブルに入院対応ができる状態と思われます。実際に、療養病棟には、比較的長期入院されている自宅退院が困難な患者様もおられます。透析患者様の合併症を含めまして、入院が必要な場合などがありましたら、当院への紹介をご検討いただけますと幸いです。その他、外来通院中の末期腎不全の患者様で、今後近いうちに透析導入が必要な症例など、外来受診のご紹介につきましても、お気軽にご相談ください。

また、本年度も、何卒よろしくお願いいたします。

前列左：透析センター長　野口俊治、前列右：腎臓内科　奥田憲太郎
看護職員 8名、臨床工学技士 10名、看護補助者 3名、クラーク 1名が透析センターに勤務しています。（2026年1月現在）

腎臓内科 外来予定

［午前］ 受付時間　8:15～11:00
［午後］ 受付時間 13:30～15:30

	月	火	水	木	金	第1･3土
午前	奥田		奥田		髙橋	野口(第1) 奥田(第3)
午後	野口	非常勤 金井				

透析患者様のご紹介をお願い申しあげます

地域連携室 直通TEL
0274-37-2060

お電話受付時間
平日（月～金曜日）9：00～17：00
第1・3・5土曜 9：00～12：00

もっと伝えたい！「足を救い、生命予後を守る！フットケアと入院透析」

足を救い、生命予後を守る！フットケアと入院透析

透析センター　師長　神澤　美穂

透析患者様にとって、糖尿病性足病変、末梢動脈疾患等の足病変は、時に下肢切断に至る可能性を秘めた重大な合併症であり、その重症化予防こそが患者様の生命予後とＱＯＬ維持の鍵を握ります。

当透析センターでは、連携施設の皆様に安心して患者様をご紹介いただけるよう、専門性と安心感を両立したフットケア体制を構築しております。当院は「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」を算定しており、日本透析医学会専門医と看護師が連携し、計画的かつ継続的なフットケア指導と管理を実践しています。医師の指示の下、月1回、医師と看護師が患者様の足の状態を徹底的に観察し、爪切りやタコ等の処置や指導を実施することで、小さな異常も見逃さない体制をとっております。万が一、治療が必要な病変が発見された場合も、院内の整形外科、循環器内科、皮膚科、血管外科と連携し、血流改善から創傷管理まで、専門医による迅速で包括的な治療をすぐに開始できる体制を整えています。特に、足病変のリスクを抱える患者様は、入院透析中であれば「24時間医療者の目が行き届く環境」で、この多科連携体制を最もスムーズに活用し、重症化の連鎖を断ち切ることが可能です。透析治療と並行し、患者様の「足を切断しない」という目標達成に貢献する当院の専門的フットケア体制を、ぜひ貴施設の患者様へご紹介ください。

地域連携室

主なお問い合わせ内容

- 緊急を要する患者様のご紹介
- 外来受診予約
- 転院のご紹介
- 相談員宛のお問い合わせ
- その他 地域連携室宛のご相談

お電話受付時間　平日（月～金曜日）9：00～17：00
第1・3・5土曜　9：00～12：00

直通TEL：0274-37-2060
直通FAX：0274-22-2288
Eメール：relation@kusunoki-hp.com

当院からの情報発信（外来予定表改訂、広報誌発行等）をメールでお受取りになりたい場合は、上記メールアドレスへご連絡ください。

わたしたちが対応いたします

地域連携室 係長
須川（すかわ） 奈美子（なみこ）

地域連携室 看護師
喜多（きた） 由貴（ゆき）

地域連携室 事務
澤入（さわいり） 幸子（さちこ）

医療法人社団三思医光会 くすの木病院 広報委員会
〒375-0024　群馬県藤岡市藤岡607-22
TEL：0274-24-3111（代表）
Homepage：www.kusunoki-hp.com